

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第59号

令和7年9月30日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言

すべては患者さんのために

医療局長 米本 司



少々堅苦しい話になりますが、年寄りのぼやきだと思って暫くの間お付き合いください。私が医師になったのは昭和時代の1987年であり、もう37年以上も前のことになります。昭和の先輩医師から「すべては患者さんのために」を基本理念とする「昭和の医療倫理観」を叩き込まれて育ちました。

昭和の倫理観は、接待、ハラスメントなどの点において現代の倫理観とは全く異なっており、コンプライアンスに対する考えは希薄でした。時代が変われば倫理観も変わるということだと思います。

また、医療はとても不確実なものであり、時代によって常識が非常識になったり、逆に非常識が常識になったりします。時代とともに医療の正解も変化していき、普遍的に正解の医療は存在しないと思います。感覚的には、昭和の医療の正解率は50%程度で、令和の医療の正解率もまだまだ60%ぐらいだと思います。

昭和時代には、医療安全という考え方は影も形もありませんでした。患者さんにその時代における正解の医療を届けられるように、医療安全活動が必要なのだと思います。時代によって変化する正解の医療に少しでも近づくために我々は常に努力して進化していかなければならないと思います。

このように、時代によって変化する倫理観や医療に対応して変化していくことはとても重要だと思います。しかし、どんな時代であっても「すべては患者さんのために」という根本理念を守り続けていくことも重要なことだと思っています。比叡山延暦寺の根本中堂で1200年燃え続ける「不滅の法灯」のように。

最後に、30年以上千葉県がんセンターに勤務して最も嬉しかったエピソードを述べさせていただきます。先日、小児がんを経験した女性患者さんの結婚式に出席しました。彼女は中学生の時から長期の抗がん剤治療と複数回の下肢の手術を受けたにもかかわらず、結婚披露宴で見事なフラダンスを踊ってくれました。新婦の挨拶で「今あるのは米本先生のおかげです」と言っていたとき涙が出るほど感動しました。

私はまだまだ修行中の未熟者であり「すべては患者さんのために」を十分に実践できていませんが、この根本理念を胸に今後も患者さん中心の医療の提供に尽力していきたいと思っています。年寄りのぼやきに最後までお付き合いいただきありがとうございました。

臨床の現場から

がん治療で重要な「栄養」をサポートします

副病院長(食道・胃腸外科/栄養サポートチーム)

鍋谷 圭宏

千 葉県がんセンターでは、がん患者さんの治療を支える「食と栄養トータルケア」を目指しています。そのために多くの日常業務を担っているのが、院内横断的に活動している多職種の栄養サポートチーム(nutrition support team: NST)です。がん治療では、十分かつ適切な栄養を摂取し、体力と免疫力をつけることが大切です。しかし、多くのがん患者さんに共通した不安は、「がん治療を受けると食べられなくなる」ことだと思います。実際に、特に消化器の手術は勿論のこと、抗がん剤による薬物療法も、放射線治療も、患者さんの「食べる」楽しみを奪うことが多いです。「食べる」ことは、がん治療の身体(栄養)の支えにも心(楽しみ)の支えにもなり、とても重要です。当院のNSTでは、入

院・外来を問わず、がん患者さんの「美味しく食べたいに込めたい」をモットーに、食の支援を最も重要な仕事と考えています(図1)。

近年増加した外来でのがん治療では、患者さんがご自宅で食を考える必要があり、ご本人のみならずご家族も日々の悩みが尽きません。そうした「がん患者さんの食と栄養に関する悩みを少しでも解決出来たら」という思いから、千葉県がんセンターではNSTメンバーが中心となって、これまでの経験をもとにレシピ本を作っています(図2)。最新の第3版では、食と栄養を中心としたがん患者さんのサポートについて広く解説しています!味覚の変化や食欲不振など様々な悩みを抱えるがん患者さんが、ご自宅で少しでも「美味しく食事を食べられる」ように、専門職が日頃からお伝えしている「食事と栄養に関するコツ」が書かれています。ご家族もぜひ読んで知識を深めていただきたい一冊です。

がん治療中は栄養状態も刻々と変化します。もし栄養に関して不安や疑問がある方は、お近くの院内スタッフにお申し出いただき、ぜひNSTにご相談下さい。



(図1) がん患者さんも楽しめる ちらし寿司

▶お買い求めは：千葉県がんセンター 2階売店にて(税込550円)

●オンライン販売は、



メディカルスマイルウェブ 千葉県がんセンター

検索

(別途送料必要)



(図2) レシピ本

地域連携室だより

千葉県がんセンターにおけるがん疑い患者さんの受け入れ体制について

地域医療連携室 室長
米本 司

日

頃より、地域医療連携にご協力賜り、誠にありがとうございます。

千葉県がんセンターでは、専門的または高度ながん診療を提供しており、県内の医療機関より多数の患者さんをご紹介いただいております。加えて、がんが疑われる段階での早期ご紹介につきましても、随時受け付けております。がんの診断には各種検査が必要ですが、当院では最新の医療機器を用いた検査を行うことが可能です。これにより、複数の医療機関での検査の重複を避けることができ、確定診断後は速やかに治療方針の決定へと進むことが可能です。たとえば、前立腺がんが疑われる症例につきましても、PSA値が4.0ng/mL以上の採血結果が得られた段階でご紹介いただければ、その後のMRI検査等は当院にて実施いたします。肝胆膵疾患が疑われる症例については、検査未施行の状態でもご紹介に支障はございません。また、内視鏡所見にて消化管がんが疑われる症例につきましても、がんの確定病理診断が得られなくてもご紹介いただくことが可能です。がんの疑いがあると診断された患者さんやご家族には、大きな不安や心配が伴います。当院では、がん相談支援セ

ンターをはじめとする支援部門が随時対応しており、安心して受診いただける体制を整えております。

がん疑いで当院の診察をご希望される患者さんがいらっしゃるいましたら、どうぞご紹介ください。診療科にもよりますが、がん疑いの患者さんにつきましては、概ね2週間以内で初診の予約が可能です。また、進行がんが疑われるなど、至急の診察が必要な場合には、地域医療連携室までご連絡いただければ、診療の調整も可能です。複数の診療科にまたがる症例につきましても、院内で速やかに連携を図り、チーム医療による対応を行っております。

千葉県がんセンターは、今後も地域の医療機関および患者さんに寄り添った医療の提供に努めてまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

予約受付：月曜日～金曜日

(土曜・日曜・祝祭日と12月29日～1月3日を除く)

医療機関等からの
予約・問い合わせ

時間：午前9時～午後5時
電話：043-264-5633
ファックス：043-263-4075

初診・再診予約
(患者さん専用)

時間：午前9時～午後5時
電話：043-263-4071

初診担当医表



<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/gairai/shoshintantoui20210501.html>

先進医療と治験の違い

先進医療とは保険適用外の治療法を評価する仕組みで、指定を受けた医療機関でのみ実施されます。治験は新規医薬品の承認を目的として安全性と有効性を評価する臨床試験です。

当院では先進医療を3件、治験は100件以上を実施しております。(R7年7月現在)

治験臨床試験推進部 部長 三梨 桂子

特 徴	先 進 医 療	治 験
目 的	保険適用外の高度な医療技術の評価	医薬品や医療機器の承認取得
費用負担	先進医療部分の費用は自己負担	治験薬は原則無料、その他費用は自己負担の場合あり
実施場所	厚生労働省が認めた医療機関	治験を実施する医療機関
承認状況	一定の評価が定まっている技術	承認前の技術
例	陽子線治療、重粒子線治療	未承認の抗がん薬



治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

現在募集中の治験情報 R7/6月末時点での募集中試験数は35件

①食道がん	2件	④前立腺がん	3件	⑦リンパ腫	6件	⑩非小細胞肺がん	2件	⑬子宮体癌	2件
②胃がん	3件	⑤尿路上皮がん	1件	⑧慢性リンパ性白血病	1件	⑪胆道癌	1件		
③大腸がん	3件	⑥乳がん	7件	⑨多発性骨髄腫	2件	⑫頭頸部癌	2件		

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijyoukyou.html>



看護の現場から

MOTOKO メイクライブ

看護局 副看護局長 石橋 早苗

令

令和7年5月19日(月)に、アメリカ・ハリウッドで活躍中のメイクアップアーティストMOTOKOさんによるメイクライブを6年ぶりに開催する事ができました。以前から当センターでボランティアとしてメイク活動で参加していただいておりますが、コロナ禍後は初の活動となりました。面会制限中の開催で企画に苦労が多く、広報も場所を選んで限定的に行うなど工夫をしながら開催しました。(この後、面会制限は緩和されました。)

人が集まりすぎても、集まらなくても困ると思いつつドキドキしながら開始時間を迎えました。7F病棟ラウンジに患者さんが集まり4名の方に、順番にメイクが始

まりました。「眉毛が一本の線になってしまい…上手く書けない」との悩みを聞き、MOTOKOさんのマジックのような手さばきでメイク完成。「わー、別人みたい」と大喜びで、「退院したらメイクをする楽しみが増えました。」と感想を頂きました。参加いただいた皆さんは、メイクを待つ間にマニキュアもきれいに塗っていただき、癒しの時間を過ごすことができたようです。

5F無菌病棟のラウンジでもメイクライブを3名に行いました。韓国風メイクにしたいとの希望でMOTOKOさんにメイクを依頼し、完成後まさに歌いだしそうな雰囲気になって、病棟看護師たちに自慢していた患者さんもありました。参加してくださった皆さんがメイク後は表情が豊かに良い笑顔になりました。多くの患者さんにもっと体験してもらえると良いと思うと同時に、職員でも体験すると明るく前向きになれるのだと思いました。

4時間にも及ぶ長い間、患者さんのためにメイクライブをしてくださったMOTOKOさん、青山さん、安井さん、本当にありがとうございました。次回も楽しみにお待ちしております。



ご 報 告

臨床病理部長に就任して

臨床病理部 荒木 章伸



本年4月、臨床病理部部長を拝命しました荒木章伸です。

私は1990年3月に千葉大学医学部を卒業し、三方淳男先生が主宰されていた千葉大学第一病理学教室の大学院生となり、悪性リンパ腫の診断を中心にご指導いただきました。

卒業後、齊木茂樹先生が部長を務められていた聖路加国際病院に勤務したのち、1999年4月に当センターに着任いたしました。

臨床病理部では患者さんから生検や手術によって採取された組織検体を顕微鏡下で観察して病理診断を行うことが最も中心的な業務ですが、現在では種々の分子病理学的検査を駆使して、診断名をつけることにとどまらず、治療に直結する情報を得ることに重点が置かれつつあります。当センターではほぼすべての臓器の悪性腫瘍の治療を行っていますので、我々病理医も多くの臓器の多彩な腫瘍に関する知識を要求されるため、成書や文献を読み、学会や講習会に参加して最新の知見を吸収しています。これらの知識を活かして、タンパク発現や遺伝子異常を院内で検査する体制を整えるとともに抗がん剤投与の適否を決めるための各種コンパニオン診断にも対応しております。

正しい診断こそが正しい治療に重要であることをしっかりと心に刻み込むとともに、決して独りよがりにならず、検体を提出してくださる臨床医や画像診断医、さらには外部のエキスパートと連携して診断を進めていくことを心がけています。

第23回千葉県がんセンター
県民公開セミナー開催のご案内

事務局 中村 飛鳥

千葉県がんセンターでは、毎年秋に県民公開セミナーを開催し、当院の医療職を中心とした講師が主に一般の方向けに無料で講演を行っています。

今年の「第23回 千葉県がんセンター県民公開セミナー」は、2025年10月11日（土）13時から（12時開場）JR千葉駅7階のペリエホールで開催します。事前申込不要で先着300名様無料となっておりますので、皆様お誘いあわせの上ぜひお越しください。

今年のテーマは「がん治療の不安に答えるー患者さん・ご家族が抱える悩みを専門の医療職が解決ー」です。医療ソーシャルワーカーの吉原恵子さん「がんになったときに知っておきたいこと」、周術期管理センター手術看護認定看護師の薮下美紀さん「安心して手術を迎えるために 術前から始める合併症予防策」、診療部長で消化器内科部長の傳田忠道先生「抗がん剤治療と遺伝子検査」、管理栄養士の前田恵理さん「がん患者さんの食と栄養」、緩和医療科部長の田口奈津子先生「がんによる苦痛とその対応：緩和ケアという選択肢」の5講演を予定しています。

また、患者会の紹介や各患者会によるブースの出展、当院がん相談支援センタースタッフによる「がん相談コーナー」も予定しています。

詳細につきまして
は、QRコードからご確認ください。（当院ホームページに移動します。）皆様のご来場を心よりお待ちしております。



がんセンター HP

県民公開セミナー
広報用チラシ

初診担当医表

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

TEL.043-264-5431 (代表) TEL.043-264-5633 (地域医療連携室直通) FAX.043-263-4075

2025年7月1日更新

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	岩立 陽祐	賀川 真吾	加藤 厚 石毛 文隆	柳橋 浩男	有光 秀仁
ハイパーサーミア	千葉 聡	千葉 聡	千葉 聡		千葉 聡
食道・胃腸外科	鍋谷 圭宏 (第1,3,5) 加野 将之 (第2,4) 外岡 亨 天海 博之	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	加野 将之 早田 浩明	鍋谷 圭宏 加野 将之 成島 一夫 桑山 直樹	加野 将之 平澤壮一郎
消化器内科	傳田 忠道 三梨 桂子 鈴木 拓人 喜多絵美里 箕輪真寿美	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 杉田 統 岡田 晃弘	三梨 桂子 中村 和貴 喜多絵美里 石垣 飛鳥 古賀 邦林	傳田 忠道 三梨 桂子 徳長 鎮久 竹内 良久	須藤研太郎 中村 和貴 天沼 裕介 北川 善康 古賀 邦林
呼吸器外科	坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一		岩田 剛和 坂入 祐一
呼吸器内科	水野 里子 芦沼 宏典	新行内雅斗 芦沼 宏典		新行内雅斗 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山田 英幸 佐久間 結	佐久間 結	羽山 晶子 佐久間 結 吉村 悟志 (第1,3,5)	佐久間 結 山本 寛人	山田 英幸 寺中亮太郎
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	鈴鹿 清美	田中 尚武	鈴鹿 清美 碓井 宏和 糸井 瑞恵 東 真理恵	田中 尚武
泌尿器科	小丸 淳潤 新納 潤	米田 慧	池原 哲郎	米田 慧 鈴木 一弘	小林 将行 山崎賢太郎
腫瘍血液内科	武内 正博 真子 千華	熊谷 匡也 辻村 秀樹 三科 達三	武内 正博 辻村 秀樹 菅原 武明 依田 夏美	熊谷 匡也 真子 千華 三科 達三	武内 正博 熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦 長谷川祐三	(担当医)	堺田 司 長谷川祐三
頭頸科	(担当医)	木下 崇 福本 一郎 三田 恭義		木下 崇 福本 一郎 三田 恭義	
整形外科	米本 司 鴨田 博人 木下 英幸	鴨田 博人 萩原 洋子		米本 司	米本 司 萩原 洋子 木下 英幸
緩和医療科	坂下 美彦		坂下 美彦		
核医学診療部			久山 順平	久山 順平	

電話
予約

●初診・再診予約(患者予約)

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-263-4071

●予約変更(患者予約)

月曜日～金曜日 午後1時～午後4時

043-263-4071

●医療機関からの直接予約

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-264-5633



JR千葉駅から 所要時間:約25分

京成バス千葉イースト: 菅田駅、鎌取駅、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車



JR鎌取駅から 所要時間:約13分

京成バス千葉イースト: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車



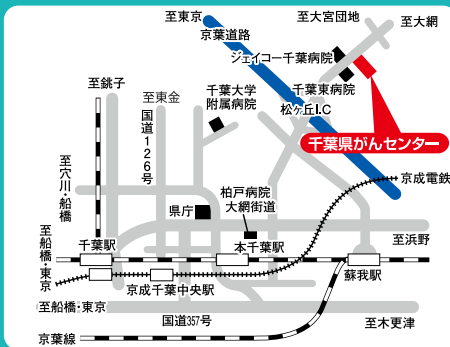
JR蘇我駅から 所要時間:約16分

京成バス千葉イースト: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車



松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2

TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>